

**製品名: GLI-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11462**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	120kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GLI1 GLI
別名	Zinc finger protein GLI1 (Glioma-associated oncogene) (Oncogene GLI)
遺伝子 ID	2735.0
SwissProt ID	P08151
免疫原	ヒト GLI-1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 460-490

**背景**

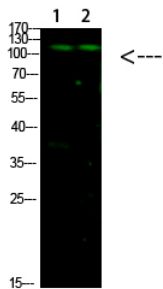
この遺伝子は、ジンクフィンガータンパク質の Kruppel ファミリーのメンバーをコードしています。コードされている転写因子は、ソニックヘッジホッグシグナル伝達カスケードによって活性化され、幹細胞の増殖を制御します。このタンパク質の活性と核局在

は、阻害ループにおいて p53 によって負に制御されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009 年 5 月]、疾患: GLI1 の欠陥は乳がんの原因となる可能性があります。、機能: 正常な発達において特定の遺伝子の転写を制御する可能性があります。頭蓋顔面の発達と指の発達、および中枢神経系と消化管の発達に与している可能性があります。SHH シグナル伝達を媒介し、細胞増殖および分化を促進する。、誘導: 神経膠芽腫細胞で増幅される。、類似性: GLI C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する。、類似性: 5 つの C2H2 型ジンクフィンガーを含む。、細胞内局在: SUFU との結合により細胞質内に固定される。STK36 との相互作用により活性化および核への移行が促進される。、組織特異性: 精巣、子宮筋層、卵管。、

## 研究分野

ヘッジホッグ;がんの経路;基底細胞癌;

## 画像データ



GLI-1 ウサギポリクローナル抗体 (1:1000 希釈) を用いた 1, マウス肝臓細胞および 2, HeLa 細胞のウェスタンブロット解析 (4°C、一晩)。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)